

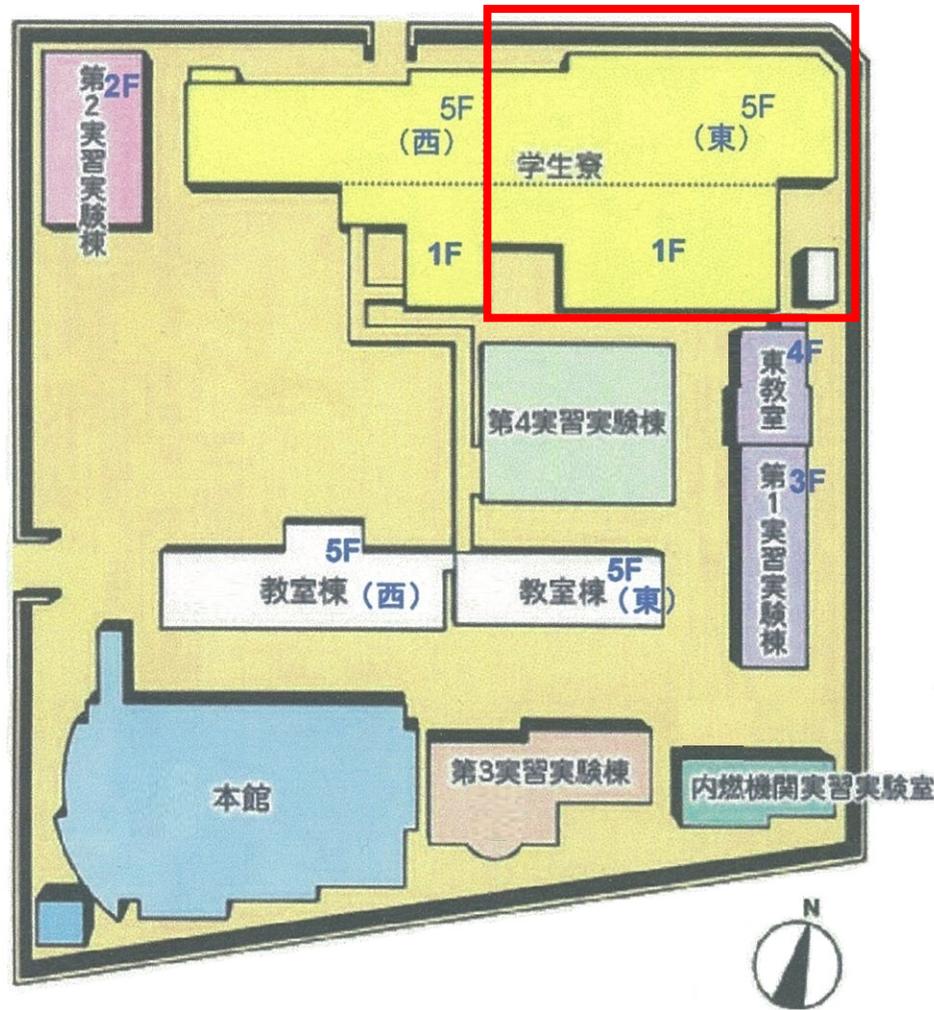
海技大学校の寮について

平成 28 年 11 月
JMETS 海技教育機構

- 海技大学校については、各施設について耐震診断・耐震設計を行っていますが、このうち西寮（定員約 70 名）については、昨年度中に既に耐震設計も終わり、10 月に成立した補正予算において工事の予算も認められたため、現在工事に着手するための準備を行っています。
- 一方、東寮（定員約 150 名）については耐震工事等の時期は未定ですが、本年行った耐震診断の結果、構造耐震指標(Is 値)が 0.3 を下回る階があることが分かりました。国土交通省の告示においては、Is 値が 0.3 を下回る場合には「地震の震動及び衝撃に際して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い」とされています。
- このため弊機構としては、東寮について、受講生が長時間滞在する宿泊施設として継続利用することは適切ではないと判断し、平成 29 年 1 月以降使用を停止することとしました。（食堂、浴室については 3 月まで利用する予定。）
- これらに伴い、今後の海大受講者の入寮については基本的に以下のように対応したいと考えております。
 - ① 学生（海上技術コース（航海・機関、航海専修・機関専修）、外航基幹コース(P)）
 - ・ 引き続き西寮で受け入れます。西寮が耐震工事で使えない間、海上技術コース（航海・機関、航海専修・機関専修）については近傍の宿泊施設を JMETS において確保します。
 - ② その他社会人等（海上技術コース（専攻）、海技士コース、運航実務コース、水先コース等）
 - ・ 東寮使用停止後は、海大の寮は西寮のみとなり収容人員が約 70 名程度となるため、上記①以外は基本的に受け入れが困難となります。
 - ・ このため、平成 29 年 1 月以降は、各受講者に各自での宿泊場所の手配をお願いしたく存じます。
 - ・ なお、①を受け入れてなお西寮に空き部屋がある時期は、その範囲内で入寮希望を受け付ける予定です（詳細未定）。
- 受講者の皆様や船社の皆様方等、関係者の皆様には大変ご面倒・ご迷惑をお掛け致しますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以 上

海技大学校 施設配置略図



本館

- > 1F 事務室
- > 図書室
- > 2F 第一会議室
- > 講堂(体育館)
- > 航海気象情報実験室
- > 電波計器実験室
- > レーダ観測実験室

教室棟

- > 第2操船シミュレータ
- > 水先第1シミュレータ
- > 水先第2シミュレータ
- > 海図製図室
- > 研修生控入室(106号教室)
- > 水先教育センター

学生寮

- > 食堂
- > 売店
- > 自販機
- > 談話室
- > 大浴場
- > 娯楽室

練習船

- > 海技丸

第1実習実験棟・東教室

- > 運用第一実験室
- > 航海計器実験室
- > 索具引力実習実験室
- > 電気実験室
- > 燃料実験室
- > 物理教室

第2実習実験棟

- > GMDSSシミュレータ
- > タンカーシミュレータ
- > 第一制御実験室

第3実習実験棟

- > 第1操船シミュレータ
- > LL教室
- > 機関室シミュレータ
- > ボイラ・蒸気タービン実験室

第4実習実験棟

- > レーダ・ARPAシミュレータ
- > タグシミュレータ
- > 技業室
- > 適応操舵システム実習室
- > 機関工場
- > 補機実験室
- > 推進実験室
- > 情報ネットワーク管理室
- > 多目的教室
- > PC演習室

内燃機関実習実験室

水先教育訓練棟